



報道各位

平成 22 年 4 月 20 日

2010 50th ACC CM FESTIVAL
ラジオ CM 部門審査を大幅に変更！
「ACC のラジオが新しくなります」

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）では、今年で 50 回目を迎える ACC CM フェスティバル（正式名称：「2010 50th ACC CM FESTIVAL」）のラジオ CM 部門の審査を大幅に変更することとなりました。ラジオ CM 部門独自のフライヤーを制作し、広く周知に努めていきます。

今回のラジオ CM 部門の見直しは、ラジオ CM 部門が広告主と制作者にとって魅力的で価値があり、クリエイターの指針となるコンクールとして一層輝くため行うもので、参加しやすく、開かれたコンクールを目指します。

主な変更点は次の通りです。

<審査の透明性を高めます！>

- * ラジオをテレビと切り離して、グランプリまでラジオ独自の審査を行う。
- * ラジオの持ち味を評価できる審査員を増やす。

<メディア価値を高める CM を評価します！>

- * 企画部門を強化し、番組企画やイベント連動など、ラジオならではの CM の仕組みを評価する。
- * 映像や写真などの付帯情報も考慮できるよう、エントリー・審査方法を見直す。

<エントリーをしやすくします！>

- * 審査料を安くする。（例：ラジオ CM20 秒・ラジオ企画 CM 4500 円⇒3000 円）
- * CD でエントリーできるようにする。

長年、ラジオ CM 部門の審査員を務めてきた林屋創一氏（エフエム東京）が「ラジオオマニフェスト」（※別紙）を作り、それを基に小田桐昭氏（オグルヴィー・アンド・メイザー・ジャパン）・水口克夫氏（シンガタ）がラジオ独自の 3 種類のフライヤーを制作。フェスティバル全体の案内より先行してフライヤーを配布し、ラジオ CM 部門へのエントリーを呼びかけます。

詳細は 4 月 23 日にオープンする ACC ホームページ・フェスティバル参加要綱にて掲載します。ラジオ CM 部門へのたくさんのエントリーをお待ちしています。

この件に関するお問い合わせ先

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F
TEL 03-3500-3261 FAX 03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

担当： 江川



<別紙：ラジオマニフェスト>

ACCのラジオが新しくなります。

ACCのラジオ審査が変わります。

昨年のACC審査会で、特に特別審査員の方々から、ラジオCMは散々な評価を受けました。「つまらない」「伝統芸能になっている」「ラジオはやめたほうがいい」など、屈辱的でもありました。エントリー数が減少し、表現の幅が狭くなったことや、予算・規模の格差など、低調だった要因はいろいろあります。

一方、日常放送されているCMの中にはもっと元気で、自然体で、広告効果をきちんと上げている・良いCMがたくさんあります。でもACC CMフェスティバルの場には登場してこない。そんな歯がゆい想いを強く抱きました。

ACCのラジオが、広告主と制作者にとって魅力的で価値があり、クリエイターの指針となるコンクールに復活させるために、今年の審査を大幅に見直すことにしました。参加し易く、開かれたコンクールに変えていきます。

<審査の透明性を高めます>

- ◎ラジオをテレビと切り離し、グランプリまでラジオ独自の審査を行います。
- ◎ラジオの持ち味を評価できる審査員を増やします。

<メディア価値を高めるCMを評価します>

- ◎企画部門を強化し、番組企画やイベント速度など、ラジオならではのCMの仕組みをきちんと評価します。映像や写真などの付帯情報も考慮できるよう、エントリー方法を見直します。

<エントリーをしやすくします>

- ◎審査料を安くします。
- ◎CDでエントリーできるようにします。
- ◎良いCMを会員者が推薦できるよう、推薦枠を設けます。

「ACCなんか関係ない」「どうせ入らないし」「決まった人たちのコンクールだよな」などと思っていらっしゃる皆さん！入賞は7%という高いハードルに変わりはありませんが、受賞したCMそれぞれに明快な受賞理由がある、透明性の高いコンクールに変えていきます。奮ってご応募下さい。

(林屋創一)